

SOAR TO THE WORLD

さあ翔びたとう 世界へ!

令和7(2025)年度入学者用

国際バカロレア(ディプロマ・プログラム)認定校
海外帰国生徒特別募集実施校
学力向上進学重点校エントリー校
東京外国語大学高大連携協定校
清泉女子大学高大連携協定校
ドイツ外務省PASCH認定校
日仏高等学校ネットワークCOLIBRI加盟校



神奈川県立 横浜国際高等学校 [単位制]

Kanagawa Prefectural
Yokohama Senior High school of International Studies

全日制国際科

全日制国際科国際バカロレア(IB)コース



教育目標 School Mission Statement

We encourage our students to become self-reliant world citizens so that they can play an active role in the future as leaders not only in Japan but also throughout the world.

世界市民として自立し、将来、日本及び国際社会におけるリーダーとして活躍する人材を育成する。

国際科

英語・第二外国語をメインとした多彩な選択科目が準備され、言語を多面的かつ集中的に学び、高度な表現力を身に付けます。また物事を多角的に捉える姿勢を養い、広い視野と高いコミュニケーション力を身に付けた人材の育成を目指します。

→詳細は4～7ページをご覧ください。

国際科国際バカロレア(IB)コース

日本の高校卒業資格に加え、世界で使える大学入学資格 (IBディプロマ) の取得を目指します。日本語や英語で書かれた多くの資料を読み、考え、議論やプレゼンテーションを行い思考を深めます。知識を統合し、高度な思考・判断力を用いて世界の未来に貢献できる人材の育成を目指します。

→詳細は8～10ページをご覧ください。

教育方針 Educational Policy

- 国際化の進展に対応し、国際社会で広く活躍するために、他者と積極的にコミュニケーションを取ることができる人材を育成する。
- 多様な文化を理解し尊重する精神を身に付け、より平和な世界の構築を目指し、主体的に行動することのできる人材を育成する。
- 他者に対する敬意と思いやりを持ち、深い知性、健康な身体と豊かな感情をバランスよく備えた人材を育成する。
- 問題を多角的な視点から探求し、理性的・論理的に判断することのできる思考力と困難に挑戦する強い意志を備えた人材を育成する。
- 多彩な学習経験を通じて多面的な知識を身に付け、常に改善の努力をすることにより、生涯にわたって学び続けることのできる人材を育成する。

沿革

- 平成 16(2004)年 神奈川県立六ツ川高等学校と神奈川県立外語短期大学付属高等学校の再編統合が決定
- 平成 20(2008)年 神奈川県立横浜国際高等学校開校
- 平成 22(2010)年 東京外国語大学と高大連携事業の協定書調印
- 平成 26(2014)年 文部科学省からスーパーグローバルハイスクール(SGH)に指定される(5年間)
- 平成 31(2019)年 国際バカロレア機構より国際バカロレア校(ディプロマ・プログラム)に認定される
国際バカロレア(IB)コース設置
神奈川県教育委員会より国際バカロレア認定校に指定される
- 令和 3(2021)年 神奈川県教育委員会より学力向上進学重点校エントリー校に指定される

横浜国際高等学校は、平成20年（2008年）4月、単位制による全日制・国際情報科として開校し、これまでの間、一貫して、国際教育や語学教育、探究活動を重視した多彩な教育活動を展開してきました。平成26年度（2014年度）には、文部科学省からスーパーグローバルハイスクール（SGH）の指定を受け、国内外の教育研究機関と連携し、神奈川のグローバル教育の先進校として、その役割を担ってきました。平成29年度（2017年度）の入学生から「国際科」への学科改編を行い、さらに平成31年度（2019年度）には、国際科の中に、国際バカロレア（IB）コースを設置し、世界各国で行われているIBの国際教育プログラムを導入しています。また、令和3年度（2021年度）から、学力向上進学重点校エントリー校に指定され、本校のこれまでの教育活動をさらに深化させる取組を行っています。



校長 小河 多香路

これからも、本校のめざす生徒像「自立した世界市民として日本や国際社会で活躍するリーダー」の育成に向け、高度な英語教育、第二外国語の学習、「総合的な探究の時間」における課題研究、姉妹校交流をはじめとした国際交流活動など、本校の特色ある教育活動をさらに充実させていきたいと考えています。さらに、IBコースでは、平和な世界を築くことに貢献する探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成をめざした教育プログラムを展開し、国際的に認められる大学入学資格・ディプロマ資格の取得をめざしていきます。

詩人・谷川俊太郎さんに書いていただいた本校校歌の冒頭には「教室に一歩入るとそこはもう地球のどこか」という歌詞があります。横浜国際高等学校の教室に入ると、そこには多様な価値観、多様な考えが集まる世界がみなさんを待っています。本校で学びみなさんが、将来のグローバルリーダーをめざし、世界に羽ばたいてくれることを願っています。

教育目標を達成するために

○高度な英語教育と第二外国語の学習

多様な科目を設置し、高度な言語運用能力を育成します。国際科では、さまざまな英語科目を通して、英語について多角的に学習する機会を提供しています。また、第二外国語科目（ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ハングル、アラビア語の中から一つ選択）を1年次生必履修とし、幅広く言語力を育成しています。IBコースでは、英語を母語とする生徒を対象とした「English A」を設置し、レベルに応じた英語学習ができる環境を整えています。国際科・IBコース共に、少人数制の授業、ネイティブ講師によるサポートにより、きめ細かい指導を行っています。

○実践的な探究活動

実践的な探究活動を通して、論文執筆に求められるスキルを身に付けます。国際科では、「総合的な探究の時間」を通して系統的に課題探究を行い、3年次には英語で論文を執筆します。また、IBコースでは、「アカデミックライティング」を1年次必履修とし、リサーチスキルの基礎を固めます。その後、課題論文（EE）で特定の教科について、より専門的な研究に取り組みます。国際科・IBコース共に、本校での探究活動を大学入試の総合型選抜にも生かす生徒が多く、大学進学後も研究を継続する卒業生がいます。

○国際交流活動の充実

さまざまな国際交流活動を通じて、多様な文化を理解し、尊重する精神を育成します。姉妹校（オーストラリア・台湾・韓国など）訪問や、交換留学生の受け入れにより、異なる文化と直接触れ合うことができます。コロナ禍を経て、現在は少しずつ直接交流の機会を再開させています。



○魅力ある学校行事

国際科の専門高校であることを生かし、多数の行事を行っています。1年次生全員が参加する「YIS English Workshop」では、ネイティブ講師と一緒に英語力の向上と国際的な視野の育成を目指します。昨年度はSDGs（持続可能な開発目標）のレッスンや、各国の歴史や文化を学ぶ活動、生徒によるポスターセッションなどを行いました。サマープログラムでは、体験的なプログラムに参加することで、豊かな世界観を育成します。昨年度は「外務省訪問」、「航空教室」、「プロのプログラマーからプログラミングを学ぼう」、「リーダーシップの授業」などが企画されました。

カリキュラム

必修科目 Compulsory subjects	選択必修科目 Elective compulsory subjects	選択科目 Elective subjects	
		自由選択科目 Optional subjects	専門科目 Other specialized subjects
現代の国語② Contemporary Japanese Language	論理国語 α④ Japanese Language (Logic) α	論理国語 β④ Japanese Language (Logic) β	英語の運用能力の向上をめざす 専門科目 総合英語 I (語法) ② Comprehensive English I (Usage)
言語文化② Language Culture	古典探究④ Advanced Classics ※この中から 1 科目選択	現代の国語 (応用) ② Contemporary Japanese Language (Practical Application)	
地理総合② Geography	音楽 I ② Music I	国語表現② Japanese Language Expression	総合英語 I (アカデミック) ② Comprehensive English I (Academic)
歴史総合② Modern and Contemporary History	美術 I ② Art and Design I	古典探究 (古文) ② Advanced Classics (Japanese)	エッセイライティング I (語法研究) ② Essay Writing I (Usage Research)
公共② Public	書道 I ② Calligraphy I ※この中から 1 科目選択	言語文化 (漢文) ② Language Culture (Chinese)	総合英語 II (アカデミック) ② Comprehensive English II (Academic)
数学 I ② Mathematics I	ドイツ語 I ③ German I	日本史探究③ Advanced Japanese History	ディベート・ディスカッション I (スピーチ)② Debate and Discussion I (Speech)
物理基礎② Basic Physics	フランス語 I ③ French I	世界史探究③ Advanced World History	イングリッシュ スルー メディア② English through Media
化学基礎② Basic Chemistry	スペイン語 I ③ Spanish I	日本史探究 (研究) ③ Advanced Japanese History (Research)	サイトラリーディング② Sight Translation Reading
生物基礎② Basic Biology	中国語 I ③ Chinese I	世界史探究 (研究) ③ Advanced World History (Research)	小学校英語活動② English Communication Activities with Children
	ハングル I ③ Korean I	政治・経済② Politics and Economy	第二外国語の運用能力の向上を めざす専門科目 ドイツ語 II A② German II A ドイツ語 II B② German II B ドイツ語 III ② German III フランス語 II A② French II A フランス語 II B② French II B フランス語 III ② French III スペイン語 II A② Spanish II A スペイン語 II B② Spanish II B スペイン語 III ② Spanish III 中国語 II A② Chinese II A 中国語 II B② Chinese II B 中国語 III ② Chinese III ハングル II A② Korean II A ハングル II B② Korean II B ハングル III ② Korean III アラビア語 II A② Arabic II A アラビア語 II B② Arabic II B アラビア語 III ② Arabic III
	アラビア語 I ③ Arabic I ※この中から 1 科目選択	数学 II ④ Mathematics II	
体育⑦ Physical Education	学校指定履修科目 School's compulsory subjects	数学 III ④ Mathematics III	異文化や国際社会に対する 理解の深化をめざす専門科目 国際理解② International Understanding
保健② Health		数学 A② Mathematics A	
家庭基礎② Basic Home Economics	総合英語 II ④ Comprehensive English II	数学 B② Mathematics B	国際食文化② Food Culture around the World
情報 I ② Information Study I	総合英語 III ④ Comprehensive English III	数学 C② Mathematics C	国際情報社会と問題解決② Global Issues and Innovative Solutions
総合英語 I ③ Comprehensive English I ディベート・ディスカッション I ② Debate and Discussion I	ディベート・ディスカッション II ② Debate and Discussion II	数学発展② Advanced Mathematics	言語文化研究② Language, Society and Culture
総合的な探究の時間 Period for Inquiry-Based Cross-Disciplinary Study S R ① Subject Research P R ① Project Research D R ① Discussion and Research	エッセイライティング I ② Essay Writing I	物理④ Advanced physics	時事問題研究② Advanced Current Issues in English
		化学④ Advanced Chemistry	
		生物④ Advanced Biology	
		情報 II ② Information Study II	

※①、②、③、④、⑦は単位数

カリキュラムの特徴

○英語の専門科目

普通科の高校で設置されている外国語（英語）科目の代わりに、英語の専門科目を設置しています。英語の必修科目と学校指定履修科目の中で、4技能5領域を総合的に伸ばします。また、多彩な選択科目を組み合わせることにより、自分に合ったスタイルで英語力を磨くことができます。

○第二外国語

ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ハンブル、アラビア語の科目を設置しています。1年次において、全員がこれらの中から1言語を選び、「第二外国語Ⅰ」の科目を履修します。その後、2年次では「第二外国語ⅡA」・「第二外国語ⅡB」を、3年次では「第二外国語Ⅲ」を履修することで学習を深め、より高度な理解力・表現力を身に付けることができます。

○専門教科「国際」

専門教科「国際」を設置しています。「国際食文化」や「言語文化研究」の授業で多様な文化について学習したり、「国際理解」や「時事問題研究」の授業で国際社会の諸問題に関する認識を深めたりします。これらの授業を通して、多様な文化を理解し尊重する精神や、問題を多角的に捉える視点を身に付けることができます。

科目履修の例

本校では、自分の興味・関心、進路希望などによって授業を選ぶことができます。卒業後に進学を希望する大学や学部等により、科目履修のパターンはさまざまです。ここでは進路希望別の履修の一例を紹介します。皆さん自身がどのように勉強していくかをイメージするのに役立ててください。（下表太枠内は選択科目です。）

年次	必修科目・学校指定履修科目等																											各自が選択する科目					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学Ⅰ	数学A	物理基礎	化学基礎	体育	保健	情報Ⅰ	総合英語Ⅰ	ディベート・ディスカッションⅠ	総合SR	LHR	芸術Ⅰ	第二外国語Ⅰ																
1年次では多くの科目が必修科目です。芸術Ⅰ（音楽・美術・書道）と第二外国語Ⅰ（ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・ハンブル・アラビア語）が各自で選択する科目となっています。																																	

年次	必修科目・学校指定履修科目等																	受験型	選択科目															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
2	公共	生物基礎	体育	保健	家庭基礎	総合英語Ⅱ	エッセイライティングⅠ	総合PR	LHR	国立系文系 (7教科8科目)	古典探究	世界史探究	数学Ⅱ	数学B	第二外国語ⅡA	2年次では17単位分を全員共通の授業として履修します	私立文系 (3教科3科目)	日本史探究	第二外国語ⅡB	イングリッシュスループメディア	ディベート・ディスカッションⅠ (スピーチ)	総合英語Ⅰ (語法)	2年次から受験型に応じた選択科目を履修します。	国公立理系 (6教科8科目)	古典探究	化学	数学Ⅱ	数学B	総合英語Ⅰ (アカデミック)	私立理系 (3教科3科目)	論理国語α			
										論理国語β		現代の国語(応用)					小学校英語活動	時事問題研究	総合英語Ⅱ (アカデミック)	エッセイライティングⅠ (語法研究)	サイトラリーディング													
										論理国語β	言語文化(漢文)	古典探究(古文)	現代の国語(応用)	国語表現	総合英語Ⅱ (アカデミック)		政治・経済	言語文化研究	第二外国語Ⅲ															
										論理国語β	言語文化(漢文)	古典探究(古文)	現代の国語(応用)	国語表現	総合英語Ⅱ (アカデミック)		政治・経済	言語文化研究	第二外国語Ⅲ															

年次	必修科目・学校指定履修科目等											受験型	選択科目																							
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33		
3	体育	総合英語Ⅲ	ディベート・ディスカッションⅡ	総合DR	LHR	国公立文系 (7教科8科目)	世界史探究(研究)	論理国語β	言語文化(漢文)	古典探究(古文)	現代の国語(応用)	小学校英語活動	時事問題研究	総合英語Ⅱ (アカデミック)	エッセイライティングⅠ (語法研究)	サイトラリーディング	3年次では11単位が全員共通です	私立文系 (3教科3科目)	日本史探究(研究)	第二外国語ⅡB	イングリッシュスループメディア	ディベート・ディスカッションⅠ (スピーチ)	国語表現	総合英語Ⅱ (アカデミック)	政治・経済	言語文化研究	第二外国語Ⅲ	3年次では、多くの科目を受験型に応じて選択して履修します。	国公立理系 (6教科8科目)	物理	数学Ⅲ	数学C	数学発展		私立理系 (3教科3科目)	生物
						論理国語β	言語文化(漢文)											古典探究(古文)	現代の国語(応用)	国語表現	総合英語Ⅱ (アカデミック)	政治・経済	言語文化研究	第二外国語Ⅲ												
						論理国語β	言語文化(漢文)	古典探究(古文)	現代の国語(応用)	国語表現	総合英語Ⅱ (アカデミック)	政治・経済	言語文化研究	第二外国語Ⅲ																						
						論理国語β	言語文化(漢文)	古典探究(古文)	現代の国語(応用)	国語表現	総合英語Ⅱ (アカデミック)	政治・経済	言語文化研究	第二外国語Ⅲ																						

- 国公立文系：横浜市立大学などの国公立文系学部、7教科8科目型受験をめざす場合の履修例
- 私立文系：早稲田大学、慶應義塾大学、上智大学などの私立大学文系学部をめざす場合の履修例
- 国公立理系：国公立理系学部をめざす場合の履修例
- 私立理系：私立理系学部をめざす場合の履修例

外国語教育と国際交流活動

○英語教育

英語の必修科目と学校指定履修科目では、文章読解・プレゼンテーション・ディベートなどの活動を行い、4技能5領域を総合的に育成します。また、多彩な選択科目により、リーディングやリスニングなどの特定のスキルを集中的に育成し、スピーチやエッセイライティングなどの科目により、英語の活用力の向上を図ります。少人数制の授業と経験豊富なネイティブ講師によるサポートで、きめ細かい指導を行っています。CEFR（語学力のレベルを示す国際標準規格）において、B1/B2レベル以上を3年次生の到達目標とし、カリキュラムを設計しています。



小学校英語活動の様子

○第二外国語教育

1年次生は、全員が、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ハングル、アラビア語の中から1言語を選択します。希望者は3年間継続して第二外国語を学習することができます。ネイティブの講師による授業を通して実力をつけた多くの生徒がコンテストや検定試験にチャレンジし、実績を挙げています。さらに、言語の習得だけでなく、言語が使用される地域の社会・歴史・文化の理解に焦点を当てた学習も展開しています。



ドイツ語ⅡAの授業

○国際交流活動

国際交流活動を充実させることにより多様な文化を理解し、尊重する精神を育成します。例年、姉妹校の訪問・受け入れを行っています。昨年度はオーストラリア・台湾姉妹校への訪問および韓国姉妹校の受け入れを行いました。また、例年留学生の受け入れも行っています。昨年度はタイ・ニュージーランドからの留学生を受け入れ、交流を深めました。



韓国姉妹校との交流会

○外国語関連コンテストの実績（一部抜粋）

〈英語〉

- ・第15回全国高等学校英語スピーチコンテスト 準優勝
- ・第15回関東甲信越地区高等学校英語スピーチコンテスト 最優秀賞
- ・第71回チャーチル杯争奪全日本高等学校学生英語弁論大会 全国本選出場

〈ドイツ語〉

- ・国際ドイツ語オリンピック2024国内予選 第2位
- ・第25回獨協大学全国高校生ドイツ語スピーチコンテスト第1部 朗読部門 第2位優秀賞

〈フランス語〉

- ・第17回東日本高校生フランス語スケッチコンクール 第3位（日本フランス語教育学会賞）・審査員特別賞
- ・第11回東日本高校生フランス語暗唱コンクール 第4位・第7位

〈スペイン語〉

- ・第5回高校生スペイン語スピーチコンテスト（清泉女子大学スペイン語スペイン文学科主催） 第1部門 第1位 第2部門 第2位

〈中国語〉

- ・第41回全日本中国語スピーチコンテスト神奈川大会 高校生部門 優秀賞
- ・第16回「漢語橋」世界中生中国語コンテスト日本大会 第2位・第3位

岸茉莉(2022年度卒業)慶應義塾大学法学部政治学科

私が学んできた第二外国語はアラビア語です。好奇心で選んだ言語でしたが、アラブ・イスラーム世界の考え方に惹かれ3年間履修しました。YISではただ言語を学ぶのではなく、言語を通してその地域の文化や時事、事象への理解も深められます。今漠然と国際的なことを学びたい！と考えている人でも、YISでの第二外国語やその他のユニークな授業がきっかけで熱中できるものが見つかるかもしれません。当時は漠然としていた私も、中東の内戦や難民問題に強い関心を抱き、3年間探究活動を行ってきました。卒業後は、政治学的な視点から欧州と中東間の難民問題について研究したいと考え、国際関係論とアラビア語を学べる大学を視野に入れました。特に慶應の法学部政治学科は政治学の授業だけでなく、イスラーム関連の歴史学や国際法を扱う授業、移民・難民に焦点を当てたゼミも開講されているため志望しました。



松本清花（在校生3年次）

私は3月に12日間のオーストラリア姉妹校訪問に参加しました。姉妹校があるアルバーニーは自然が豊かで、のびのびとした雰囲気が素敵な場所です。ホームステイ先の方や地元の方々とは皆明るくておらかな素敵な方で、充実した時間を過ごすことができました。地区センターやライブハウスのような教会で集まって交流をしたり、友人を家に招待して小さなパーティを開いたり、すれ違って挨拶をしただけでも、日本とは違うオーストラリアのコミュニティのつながりの強さを実感しました。姉妹校の生徒との交流では、英語での日本文化の紹介や幅広い年齢の子供たちとの交流で、言語面における苦労もありました。お互いの文化や生活、違いについて触れることの楽しさを感じ、以前よりも英語を積極的に話せるようになった一方で、自身の英語力不足も実感し、英語の学習のモチベーションアップにもつながりました。



総合的な探究の時間

○総合的な探究の時間の特徴

平成26年から平成31年の5年間、SGH（スーパーグローバルハイスクール）に指定された際に開発した課題探究プログラム（SR・PR・DR）をさらに発展させた、系統的な指導計画を立てています。3年間を通して、自らの興味・関心や課題意識から問いを立てて学術的に深め、その探究を、筋道を立てて他者に発表できるようにすることが目標です。

1 年次 SR (Subject Research)

学問の問いを立てる

学問の探究を通して特定のトピックに関する理解を深め、問いを立て、自分の探究について説明できるようになることを目指します。ワークショップや講演会の内容を基に自分で問いを立てて、2,000字程度のレポートの作成とプレゼンテーションを行います。



2 年次 PR (Project Research)

確かなデータを取る

自分の問いを解き明かすための計画を立て、調査できるようになることを目指します。自分の問いについて情報収集と調査を行い、アカデミックな論文を書くスキルを身に付けるワークを通して、8,000字程度の論文の執筆とプレゼンテーションを行います。



3 年次 DR (Discussion and Research)

英語で論文を執筆して発表する

課題を見つけ、その解決方法を英語で提案できるようになることを目指します。ネイティブの先生によるサポートを受けながら自分の研究を深め、英語での1,500語程度の論文の執筆と英語でのプレゼンテーションを行います。



○探究活動の支援体制

教員と一緒に行うワークショップに加えて、外部講師による講演会を開催しています。SR講演会では、大学院生を招いて、学問分野に応じた研究の手法について学びます。また、DR講演会では、卒業生の講演を通して、DRと大学における学びとのつながりを確認します。

図書館には探究活動に役立つ資料が充実しています。通常の図書に加えて、電子図書サービス「Over Drive」や学術文献データベース「ProQuest」等のオンランデータベースも利用可能です。



SR 講演会

○リサーチクエスチョンの例

- ・横須賀市はどうしたら他地域への認知度が上がり、活性化するのだろうか？
- ・現代日本において、無宗教は宗教であると言えるか？
- ・日本で同性婚を法制化する場合に浮上する課題とは？－他国との比較を通し考察する－

鳥羽樹来(2022年度卒業) 国際基督教大学教養学部

私はSR、PR、DRを通して、外国に繋がることにもついて調べました。調査のために日本語教室でボランティアを行い、現場ではどのようなことが求められているかなど自分の目で確認し、論文を仕上げました。日本語教室で日本語を子どもたちに教えた経験から日本語教師になりたいと考え、日本語教員養成プログラムがある大学に進学しました。実際にDRでの調査は進路決定だけでなく、総合型選抜にも役立ちました。ボランティア経験を通して自分の学びたい分野に関わり、論文を作成した経験は合格に大きく影響したと思います。大学進学後はDRの内容を発展させて、より専門的な学びを深めたいです。



仁平柚菜(在校生 3年次)

私はSR、PR、DRを通してアメリカの抹茶ブームの背景とその本質について調べました。SRでは研究テーマを見つけるために様々な本や論文を読むことは大変でしたが、自分がどんな事柄に興味を持ちどんな疑問を持っているのかを発見することができました。PRではSRの内容をさらに深掘りし、論文を書き上げていきます。私は抹茶が実際にアメリカで受け入れられているのかグーグルフォームでアンケート調査を行い、また日本の茶の輸出量などのデータを検証しました。膨大な資料集めや分析をすることは難しかったですが、見やすく分かりやすいプレゼンテーション資料の作成や論文の書き方を学ぶことは将来につながる学びになりました。これからDRに取り組むこととなりますが先生方にアドバイスをいただきながらYISだからこそできる英語論文を完成させたいと思います。



国際バカロレア

○国際バカロレアとは

国際バカロレア (International Baccalaureate : IB) とは、1960年代にスイスで開発された、世界各国の学校で導入されている教育プログラムです。IBは、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的とした「全人教育」です。

○国際バカロレアの理念

国際バカロレアは、上記の「全人教育」の目的のため、学校や政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。

IBのプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、生涯にわたって積極的に、そして共感する心をもって学び続けるよう働きかけています。

○国際バカロレアの学習者像

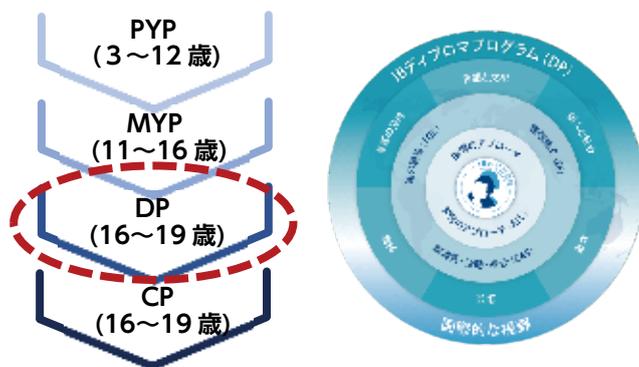
「IBの学習者像」は、「IBの使命」を具体化したもので、「国際的な視野をもつとはどういうことか」という問いに対するIBの学習の取組みの中核を担っています。具体的には、IB認定校が価値を置く人間性を、右の10の人物像として表しています。



国際バカロレアコースが目指すもの

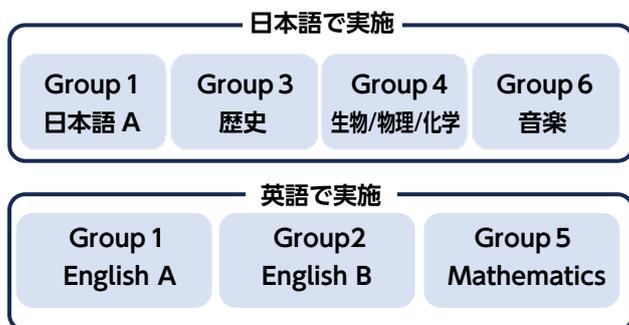
○ディプロマ・プログラム

本校の国際科国際バカロレアコースでは、IBの教育プログラムのうち16歳～19歳を対象とするディプロマ・プログラム (DP) を導入しています。DPは国際的に認められている大学入学資格 (IBディプロマ資格) を付与する目的で、高度で充実した教育プログラムを実施するものです。



○デュアル・ランゲージ・ディプロマ・プログラム (DLDP)

国際バカロレアコースは、デュアル・ランゲージ・ディプロマ・プログラム (DLDP : 日本語DP) です。DLDPはDP科目の一部を日本語で実施します。本校では、DP科目のうち英語と数学を英語で実施し、他の教科は日本語で実施します。DLDPで取得したDP資格は英語DP等と同様の評価を受けることとなります。



○高等学校卒業資格とIBディプロマ資格

国際バカロレアコースのカリキュラムは、高等学校学習指導要領とIBが定める教育内容等の両方を満たしています。必要な科目を履修して所定の単位を修得し、高等学校卒業資格を取得します。学校内の評価及びIBによる評価 (世界共通の統一試験等の結果) がIBの基準を満たすとIBディプロマ資格が付与されます。

国際バカロレアコースのカリキュラム

○年次履修科目

1年次は、高等学校学習指導要領の定める必修科目を中心に学習します。2・3年次は、IBのカリキュラムに対応したディプロマ・プログラム科目（DP科目）を中心に学習します。DP科目は1年次の1月から履修します。

年次	履修科目
1年次 (4～12月)	言語文化、公共、地理総合、数学Ⅰ、科学と人間生活、体育、保健、音楽Ⅰ、ディベート・ディスカッションⅠ、アカデミックライティング、総合的な探究の時間、LHR
1年次 (1～3月)	体育、保健、アカデミックライティング、LHR、DP科目(「コア」を含む)
2年次	体育、保健、家庭基礎、IB課題論文、LHR、DP科目(「コア」を含む)
3年次	体育、情報Ⅰ、IB課題論文、LHR、DP科目(「コア」を含む)

○ODP科目6科目 自分で教科横断型の学びをデザインする

DPでは、幅広い学習分野を同時並行で学びます。授業では生徒同士の議論、調査、実験、検証、プレゼンテーションなどの活動が多く行われるため、授業以外での準備も必要になります。また、学習量が多くなり、大学での学びに備えた準備をより効果的に行うことができます。6つのグループから1科目ずつ選択し、2年間取り組みます。グループ6の音楽Ⅰはグループ4の化学に代替することもできます。SL（標準レベル：6単位）3科目、HL（上級レベル：10単位）3科目を履修します。



グループ名	履修科目	使用言語
グループ1 言語と文学 (母語)	日本語A(SL/HL)、English A (SL/HL)：人間や社会の本質に読者を開く、文学性の高い作品（小説、戯曲、詩など）を批評することは、自己と世界を捉えなおすきっかけになります。また、文学作品以外にも、新聞記事やポスター、ブログなど幅広い素材取り上げ、多角的に分析します。クラスメイトとディスカッションしながら解釈・考察をつくりあげていく喜びを一緒に味わいましょう。	日本語 (日本語 A) 英語 (English A)
グループ2 言語習得 (外国語)	English B (SL/HL)：In English B, all communication (reading, writing, listening, and speaking) is done in English. Attitude toward learning English is the key to academic success. English teachers provide a variety of opportunities to develop international mindedness and language skills.	英語
グループ3 個人と社会	歴史(SL/HL)：「考えるということは直面し抵抗することである」という言葉があります。社会は無数の事実の連関から織りなされます。しかしある社会的「事実」が事実であるとは、また「事実」と別の「事実」の間に「関係がある」とはどうして判断できるのでしょうか。グループ3では、歴史的な史資料や概念を用いながら、我々の社会構造がいかに構造化され、ないし個別化されているのかを、学術的に探究しながら、物事に「直面し抵抗する」難しさと楽しさを学びます。	日本語
グループ4 理科	物理(HL)、化学(SL/HL)、生物(SL/HL)：私たちの世界は全て物質でできています。ずっと昔から人間はこの世界の物質や自然現象についての「なぜ？」を探究し続けてきました。科学とは何でしょうか。グループ4の授業では物理学、化学、生物学の各分野から様々な「なぜ？」に答えようとする中で科学の本質(Nature of Science)に迫ります。	日本語
グループ5 数学	Analysis and approaches(SL/HL)：数学の授業では、生徒たちが協力して例題や演習問題を解説するなど、生徒同士が協働で学び合う授業を実践しています。この形式で数学を学んだ生徒からは、「より深く理解でき、知識の定着が実感できる」と大変好評です。	英語
グループ6 芸術または 選択科目	音楽(SL)：音楽理論を身に付け、作曲編曲など、自分の手で作品を創り出す喜びを味わいます。また、楽器や声楽の演奏を通し、表現活動に取り組みます。そのため楽器経験は必須です（ピアノの場合、ドビュッシー「月の光」程度）。自分やクラスメイトの作品を分析し、音楽とは、表現とは何かを探っていきます。 ※代わりにグループ4から化学を選択することができます。	日本語

ODP科目必修要件「コア」 分析的な思考と学びの基礎を作る

〈知の理論〉 TOK: Theory of Knowledge

自分が「知っている」と他者が「知っている」ということはどのように違うのでしょうか。またその違いにより、社会にどのような状況が発生するのでしょうか。この科目では、「知識」とはどのようなものを分析し、それがどのように構築されているものかを探究していきます。プレゼンテーションと論文提出により、学習の成果を表現します。

TOKの問いの例

- ・議論の余地がある主張とそうでない主張を、私たちはどのように区別しているのか。
- ・知識によっては、倫理的な理由から追及されるべきでないものがあるのだろうか。
- ・「問いかけることのできない答えをもつよりも、答えることのできない問いかけをもつ」ほうが良いことなのか。

〈創造性・活動・奉仕〉 CAS: Creativity / Activity / Service

芸術などアイデアを探究し作品やパフォーマンスを創造する活動 (Creativity)、健康的なライフスタイルを身に付けるための身体的活動 (Activity)、コミュニティのニーズを見つけ、他者とともに共同で活動し、相互扶助に取り組む活動 (Service) の3種類の体験的な学習に取り組みます。自分の長所や今後成長が求められる分野を認識する機会にもなります。

CASの例

- ・家族のための栄養バランスに配慮した夕飯づくり
- ・体力づくりと環境保護のためのゴミ拾い登山
- ・子どもを貧困から救うためのチャリティーコンサートの開催



〈課題論文〉 EE: Extended Essay

生徒各自が、履修しているDP科目に関連した研究分野について特に興味のあるトピックを1つ選び、個人研究に取り組みます。また、研究成果を日本語で8,000字（または英語で4,000語）までの論文にまとめます。大学での探究的な学びに必要とされるリサーチスキルや記述力を身に付けることができる科目です。



課題論文のタイトルの例

- ・物体が水に飛び込む際の高さは水面衝突で受ける力の大きさや到達する水深とどのような関係があるのか。
- ・Did the declaration of a state of emergency really reduce the people-flow, and how did the changes relate to the number of new-infected?
- ・How and why does Carson explore the idea of “death” differently in her two works “Silent Spring” and “Under the Sea-Wind” ?

小嶋未来 (在校生3年次)

私が思うIBコースの一番の魅力は、志が高い友人に囲まれ、様々なことに挑戦できる環境があることです。中学ではやらなかった部活に入ってみたり、2年生では日本財団が主催する「うみぼす甲子園」に応募し全国大会に出場したり、3年生になった現在では友達と励まし合いながら夜まで勉強したり…。IBファミリーや先生方に支えていただきながら、勉強に部活に課外活動に、興味があることに全力を注げる充実した毎日を送っています。山積みの課題やテストに追われる日々には挫けそうになる時もありますが、それを乗り越える忍耐力や向上心をくれたのもまたIBコースです!! いつの間にか3年生になってしまいましたが、最後まで全力で走り切ろうと思います!



パルメリ メイリ(2021年度卒業)スタンフォード大学 (U.S. Presidential Scholars Program) に選出

IBの授業を通して、自分の意思決定の過程が変わりました。両親やメディアの見方から自立し、自身の信念をもちながらも事実をできる限り客観的にとらえ、それをもとに自分なりに意見を形成するようになったと思います。同時に、異なる信念や経験、知識をもつ人の考えの違いを受け入れ、その人の立場になって物事を考えることもできるようになりました。自分の意見を持てるようになったことでの一番の変化は、自身のリーダー性が向上したことだと感じています。以前はただ周りの人の意見に合わせるが多かったように思いますが、IBでの3年間の学びを通し、「世の中が必要としていること」を考え、「自分ができること」を見つめ、その一致点を自ら探究し、行動する力。そして、その考えに賛同してくれる人との協働する力を培うことができたと感じています。



学校施設・標準服



自習室

授業のない時間や放課後の自学自習に多くの生徒が活用しています。



ウォーターサーバー

ペットボトルの使用減少のためマイボトルの利用を推進しています。



BYOD環境

全教室にBYOD環境を整備し、個人端末を活用した授業を展開しています。



個人用ロッカー

生徒昇降口と各教室に生徒全員の個人用ロッカーを配置しています。



CALL教室

外国語の4技能5領域育成のため、CALL教室を2か所配置しています。



ガイダンスルーム

難関大学を中心に多くの過去問を整備し、進路実現を支えています。



YISホール

220名収容可能なホールです。授業や講演会などで活用しています。



ステンドグラス

新棟を除く3棟の1・2階部分はステンドグラス付きの吹き抜けになっており、開放的な造りになっています。



標準服

「OLIVE des OLIVE」のブレザーを標準服として採用しています。スカート、スラックス、ワイシャツなどについては学びの場にふさわしいものを自分で選択し、着用します。式典や外部講師を招いた講演会等で標準服を着用します。



新棟

IBコースの授業等のために、令和2年度に新棟を建設しました。

その他の設備

- 国際交流ホール：** 最大160名を収容可能なホール。備え付けのプロジェクタや音響機器も整備されており、年次全体の講習や日常の授業などでも活用されています。
- セミナー教室：** 8教室あります。外国語を中心に10名程度の少人数授業の展開に活用しています。
- コンピュータ室：** 3教室あります。そのうちの1教室は可動式の机・椅子を配置し、YIS English Workshopなどの行事や、グループワークを用いた授業などに活用されています。

学校行事

4月	<ul style="list-style-type: none"> • 入学式 • 対面式 • 部活動オリエンテーション
5月	<ul style="list-style-type: none"> • 新入生歓迎会 • 社会見学 • 前期中間試験
6月	<ul style="list-style-type: none"> • 卒業生による進路講演会
7月	<ul style="list-style-type: none"> • 前期期末試験 • 球技大会 • YIS English Workshop • サマープログラム
8月	<ul style="list-style-type: none"> • サマープログラム • IBコースTOK展示会 • YIS英語スピーチコンテスト
9月	<ul style="list-style-type: none"> • YISフェスタ (文化祭)
10月	<ul style="list-style-type: none"> • 台湾姉妹校受入 (令和6年度) • IBコース最終試験
11月	<ul style="list-style-type: none"> • IBコース最終試験 • 後期中間試験 • 国際科DR発表会
12月	<ul style="list-style-type: none"> • 修学旅行 (台湾) • 国際科SR発表会
1月	<ul style="list-style-type: none"> • 韓国姉妹校訪問 (令和6年度) • 大学入学共通テスト
2月	<ul style="list-style-type: none"> • 後期期末試験
3月	<ul style="list-style-type: none"> • 卒業式 • 国際科PR発表会 • 球技大会 • オーストラリア姉妹校訪問予定 (令和6年度)



YIS English Workshop (7月)



サマープログラム「外務省訪問」(8月)



YISフェスタ (9月)



修学旅行 (12月)



球技大会 (3月)

部活動・同好会・委員会

文化部

吹奏楽部	ボランティア部
軽音楽部	エンターテイメント部
合唱部	フラメンコ部
美術部	競技かるた部
演劇部	インターアクト部
茶道部	模擬国連部
放送部	パントマイム部

運動部

男子サッカー部	バドミントン部
女子サッカー部	チアリーディング部
ラクロス部	陸上競技部
テニス部	弓道部
バスケットボール部	ダンス部

同好会

バレーボール同好会	S D G s 同好会
写真同好会	

委員会

図書委員会	保健委員会
環境委員会	国際交流委員会
地域連携委員会	文化祭実行委員会
新入生歓迎委員会	球技大会実行委員会
選挙管理委員会	評議委員会

笹川優斗 (在校生3年次：令和5年度地域連携委員長)

私は、委員会活動を通してYISの魅力中学生や保護者に発信し、地域の方々との交流を深めることに努めました。YISは、「なりたい自分」を夢見る場所から、確信する場所へと変えてくれる存在であると感じています。お互いの意見を尊重し、高め合える姿は、多くの感性を備えたYIS生ならではのものだと思います。委員会では、学校説明会での英語での学校紹介や地域のイベントへの参加といったかけがえのない経験を通じて自らを律し主体的に行動できるきっかけを得ることができます。そのほかにも国際色豊かなYISにしかないイベントが豊富で、様々な価値観を分かち合うことができるのも魅力です。個性あふれる仲間と共に成長し、世界へと翔けていくことができるYISでの高校生活に興味のある方、お待ちしております！



笠原麻由 (在校生3年次：模擬国連部)

模擬国連を知っていますか？珍しいので知らない方も多いでしょう。模擬国連とは各国の大使になりきり、協議やスピーチなど国際会議を模擬する活動です。ディベートのように白黒はっきりとしておらず、この点では同じだがここは妥協できない、というように国ごとに微妙に立場が違うのが魅力です。私がこの部活で得た事は、臨機応変に動く力です。会議中は積極的に他大使の元へ行き、政策を提案、交渉しました。今後の国の政治や経済にも関わるので妥協はできません。沢山の意見が出るので頭がパンクしつつも、国の代表としてどうするべきか考え実践するのは精神的に楽しめました。世界市民としての感覚が磨かれるYISに皆さんも入学しませんか？



菊池彩文 (在校生3年次：陸上競技部)

横浜国際の部活動では、限られた場所と時間の中で、自分の弱点を見つけ、どのようにして改善していくかが重要になります。私は陸上競技部で走り高跳びをしており、動画を見たり先生方にアドバイスを頂いたりしながら、自分の弱点を改善しようと取り組み、インターハイなどの大会出場や、自己ベストの更新も達成することができました。また、七種目など、専門ではない種目にチャレンジすることもできました。横浜国際の部活動は部員数が少ないものが多いですが、その分部員同士の仲が良く、練習の様子や努力が身近に感じられるので、自分が活動するのも応援するのともやりがいを感じる場所が魅力の一つです。また、兼部ができるので、自分の興味を広げたり、深めたりすることができるのも魅力です。



進路指導

生徒の進路実現に向けた様々な取組みを行っています。国際科・IBコースそれぞれの特徴を踏まえた進路指導を計画しています。

○進路に関わる行事一覧（2024年度予定・一部抜粋）

	1年次	2年次	3年次
説明会	IB保護者説明会(5月) 生徒対象進路説明会(6月) 国際科保護者対象進路説明会(6月)	IB保護者説明会(5月) 生徒対象進路説明会(5月) 国際科保護者対象進路説明会(6・1月)	IB保護者説明会(5月) 生徒対象進路説明会(5・11月) 国際科保護者対象進路説明会(6・11月) 生徒対象出願説明会(7月)
英語外部試験	TOEFL-ITP(4月)	TOEFL-ITP(4月)	TOEFL-ITP(4月)
模擬試験など	国際科スタディサポート(4月) 国際科記述模試(7・11・1月)	国際科記述模試(7・11・1月)	国際科記述模試(7・10月) 国際科マーク模試(5・9月)
講演会・ワークショップ	卒業生による講演会(6月) 総合型入試ワークショップ(6月) 海外進学ワークショップ(11月) 総合型対策ワークショップ(3月)	卒業生による講演会(6月) 総合型入試ワークショップ(6月) 海外進学ワークショップ(11月) 総合型対策ワークショップ(3月)	卒業生による講演会(6月) 総合型入試ワークショップ(6月) 総合型対策ワークショップ(7月) 海外進学ワークショップ(11月)

○本校の進路指導の特徴

〈チューター制度〉

希望する進路に応じた教員によるサポートが受けられるチューター制度を整えています。日々の学習に関する相談にも対応しています。

〈カレッジカウンセラー〉

カレッジカウンセラーの教員が、海外大学への進学をサポートします。海外大学への進学に関する情報発信も行っています。

〈英語外部試験と模擬試験〉

国際科とIBコース共通で、毎年TOEFL-ITPを実施しています。これにより自分の英語力の伸びを実感するとともに、英語学習を振り返ることができます。また、国際科では定期的に模擬試験を実施しています。

〈模擬面接〉

3年次より、総合型選抜・学校推薦型選抜の受験予定者との面接練習を実施しています。英語面接の対策にも対応しています。

〈講演会・ワークショップ〉

進学に関する様々なイベントを実施しています。様々な情報を得ることで、多角的な視点で自分の進路を検討することができます。



卒業生による進路講演会



東京外国語大学キャンパスツアー

相馬帆花（2023年度卒業）東京工業大学物質理工学院

学校生活を通して得た学びは自分の興味を突き詰めることの面白さです。私は英語が好きだという気持ちでこの学校に入学しましたが、卒業する時には入学当初以上に語学が大好きになっている自分に驚きました。単語や文法といった語学の勉強の先には本やインターネットなどを通して自分の知らない世界と繋がることのできる喜びが待っています。高校三年間夢中で英語を学んだことで選択肢や情報源が広がり、他の諸外国語を勉強する上での強固な基盤となっているだけでなく、自分の「好き」や「面白い」という純粋な気持ちを信じていいんだという自信をくれました。このことは大学またそれ以降の生涯で学びを続けるにあたっての大きな財産です。これからも自分の好奇心や興味に耳を傾けることをぜひ大切にしていきたいと思っています。



高橋明里（2023年度卒業）高知大学医学部

高校入学前の私は自分が医学部に進学できるとは思っていませんでした。高校入学後、理科の授業に魅せられ、気づけば理系を選択。自身の興味や関心、人の役に立つ仕事を組み合わせたととき、私の中で医学部進学という目標が浮かびました。その後は目標達成のために周囲のサポートのもと学内外問わず様々な課外活動にチャレンジしました。この時に仲間と共に切磋琢磨しながら少しずつ成功を重ねられた経験は自信に繋がり、ハードなIB生活を乗り越える原動力になったと思います。高い熱量を持った先生方や個性豊かな仲間時に圧倒されながらも、それが刺激となり、私は自分の殻を打ち破ることができたのだと今では思います。YISで過ごした3年間は私の一生の財産です。どんなことが起こるかは自分次第。自分の可能性を広げられるように頑張りましょう！



国際科 2023年度卒業生 合格状況 (主な大学)

大学名 (国公立)	現役生	既卒生
大阪大学		1
東京工業大学	1	
東京外国語大学	4	
新潟大学	1	
会津大学	1	
神奈川県立保健福祉大学	1	
東京都立大学	1	
横浜市立大学	9	

大学名 (私立)	現役生	既卒生
青山学院大学	24	1
学習院大学	5	1
学習院女子大学	2	
神奈川大学	21	2
関西大学	1	
関東学院大学	1	
北里大学	1	1
慶應義塾大学	14	1
国学院大学	2	
国際基督教大学	2	

大学名 (私立)	現役生	既卒生
芝浦工業大学	4	
上智大学	29	
昭和女子大学	8	
成蹊大学	5	
成城大学	5	
聖路加国際大学	3	
専修大学	3	
多摩美術大学	1	
中央大学	25	2
津田塾大学	7	
帝京大学	1	
東京女子大学	1	
東京都市大学	4	
東京理科大学	2	
東洋大学	6	2
東邦大学	1	
日本大学	3	2
日本女子大学	2	
フェリス学院大学	1	
法政大学	22	

大学名 (私立)	現役生	既卒生
武蔵大学	4	
武蔵野大学	1	
武蔵野美術大学	6	
明治大学	9	
明治学院大学	32	
立教大学	26	
立命館大学	2	2
立命館アジア太平洋大学	1	
早稲田大学	8	

大学名 (海外)	現役生	既卒生
SOAS, University of London	1	
University of Manchester	1	
The University of Leeds	1	
University of Durham	1	
University College London	1	
King's College London	1	
INTO Manchester	1	
University of Edinburgh	1	

国際バカロレアコース 2023年度卒業生 合格状況 (主な大学)

大学名 (国公立)	現役生
京都工芸繊維大学	1
高知大学	1
国際教養大学	1
都留文化大学	1
横浜市立大学	1

大学名 (私立)	現役生
神奈川大学	1
慶應義塾大学	1
国際基督教大学	1
芝浦工業大学	1
上智大学	1
東京都市大学	1

大学名 (私立)	現役生
東北芸術工科大学	1
法政大学	2
明治大学	1
立教大学	1

大学名 (海外)	現役生
Mary Washington	1
American University	1
Dickinson College	1
Tufts University	1
College of William and Mary	1
Brandeis University	1
University of Sussex (Foundation)	1

大学名 (海外)	現役生
University of East Anglia	1
SOAS, University of London	1
University of Portsmouth	1
York University	2
George Brown College	1
Queensland University of Technology (Diploma)	1
Sunshine Coast University	1
University of Western Australia (Foundation)	1
Western Sydney University	1
University of Otago	1
HELP University	1

(2024年3月31日現在)

本校へのアクセス Access

〈おもな駅からの所要時間〉

— JR
— 私鉄
— 横浜市営地下鉄
 数字は弘明寺（京急又は市営地下鉄）
 までのおおよその所要時間（分）



〈学校案内図〉



〈利用交通機関〉

- 京浜急行弘明寺駅より徒歩 20 分
又は「弘明寺口」よりバス 5 分
「大池」下車徒歩 6 分
- 横浜市営地下鉄弘明寺駅より
徒歩 12 分「弘明寺口」よりバス 5 分
「大池」下車徒歩 6 分
- JR 戸塚駅より
「戸塚駅東口」よりバス 20 分
「大池」下車徒歩 6 分
- JR 東戸塚駅より
「東戸塚駅東口」よりバス 20 分
「大池」下車徒歩 6 分

□ 学校説明会

本校WEBサイトよりお申し込みください。

- 7月26日(金) 9:00～ / 11:00～
- 8月24日(土) 9:00～ / 11:00～
- 10月19日(土) 9:00～ / 11:00～
- 12月14日(土) 9:00～ / 11:00～

□ 国際バカロレアコース説明会

本校WEBサイトよりお申し込みください。

- 8月3日(土) 9:00～ / 11:00～

□ 公私合同説明・相談会（横浜南地区）

- 8月7日(水) 関東学院大学(関内キャンパス)

□ YIS英語スピーチコンテスト

詳細は本校WEBサイトをご確認ください。

- 8月31日(土) 13:00～

□ YISフェスタ(文化祭)

詳細は本校WEBサイトをご確認ください。

- 9月20日(金)・21日(土)

□ 国際バカロレア(IB)コース体験授業

詳細は本校WEBサイトをご確認ください。

- 10月19日(土) 13:00～15:00

※公私合同説明・相談会以外のイベントは本校にて実施します。



神奈川県立横浜国際高等学校

〒232-0066 神奈川県横浜市南区六ツ川 1-731
TEL 045(721)1434 FAX 045(742)9493



横浜国際高校



<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/yokohamakokusai-h/>